

(今後の課題) 県補助事業、学校歯科医・歯科医師会との連携、研修会の開催等

○ 学校現場職員等の理解・認識

(今後の課題) 校長会、養護教諭部会、教育委員会との連携

県においては、県教育委員会との連携を図っていただきたい。

○ 18年度開始した施設の4月以降の継続について：県のモデル事業として開始したが、県の19年度事業実施が実施されない場合。または実施されるまでの期間の継続方法。

(今後の課題) 受益者負担について。負担の範囲。

○ 事業予算：今後の事業継続・普及に関する予算措置について

市単独事業で新規事業としての予算化は市町村では非常に厳しい現状。

他県の状況をみても、フッ化物洗口事業が普及し成果を挙げている地域は

県事業として費用負担や一部補助が実施されている。

○ 県及び郡市歯科医師会との連携・協力

【19年度以降の事業の予定・市町村事業としての予算化の有無】

事業の予定：市健康づくり計画「健康いちほら21」推進の一環でもあり、19年度以降は、「フッ素でぶくぶく☆笑顔がキラキラ応援事業」として、フッ化物洗口の実施に向けて取り組む希望のある施設に対しての支援を積極的に実施していく予定。

予算化の有無：フッ化物洗口事業に係る予算については、19年度新規事業として要望したが、予算化はされなかった。事業継続のため、受益者負担も含め検討していく方向であるが、フッ化物洗口の普及・事業継続に向けて県での予算補助を強く望む。

【活用した参考資料や文献 ※特に有効だったもの】

名 称	概 要	活用場面	費用や入手先等
う蝕予防のためのフッ化物洗口実施マニュアル	フッ化物洗口実践の手引き	モデル施設・学校歯科医・洗口支援歯科衛生士・医師会・薬剤師会等関係者の共通理解のため活用	1冊 2000円 社会保険研究所
フッ素洗口—安全性を理解するために—	フッ素洗口とフッ素の安全性について	職員研修会や保護者説明会において活用	1部 30円 新潟県歯科保健協会
フッ化物でつくろう！むし歯のない丈夫な歯	フッ化物とむし歯予防について	幼稚園等スタッフ研修会で活用。洗口の準備や様子など実際がわかりやすい。	無料 千葉県配布のもの
むし歯を防ぐフッ化物洗口	DVD 施設でのフッ素洗口の実際		無料：埼玉県・埼玉県歯科医師作成

【記録写真等】

写真1 辰巳台幼稚園保護者説明会



写真2 鶴舞小学校保護者説明会

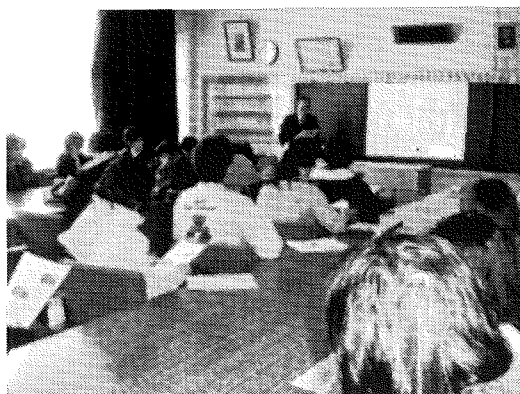


写真3 牛久幼稚園洗口支援歯科衛生士による洗口指導



写真4 フッ化物洗口推進研究会



写真5 平三小学校 洗口初日薬剤作成の様子



写真6 平三小学校 フッ素洗口の様子

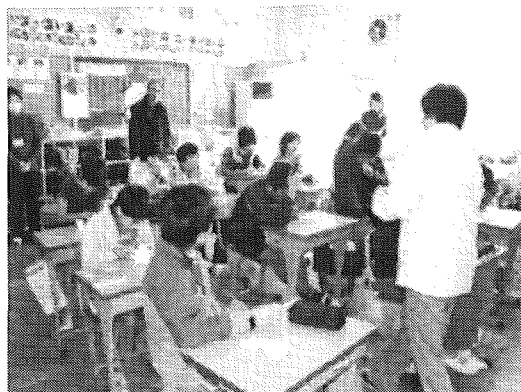


写真7 鶴舞小学校 フッ素洗口の様子



写真8 鶴舞小学校 保健室フッ素洗口物品棚



参考資料 別添

「フッ化物洗口普及モデル校として～鶴舞小学校～」(市事業報告会資料)

「保健だより～抜粋～(鶴舞小学校)」

「保健だより～抜粋～(平三小学校)」

「平成 18 年度 市原市フッ化物洗口事業概要(フッ化物洗口普及モデル事業含む)」

(第 2 回市原市フッ化物洗口推進研究会資料)

フッ化物洗口普及モデル校として

市原市立鶴舞小学校

I. フッ化物洗口の実施に際して

1. 本校の考え方

- (1) 学校経営方針から 「児童・職員の心身の健康」
- (2) 食育(健康教育)を推進する根幹として
- (3) 児童の実態等から

2. 実施までの経過

- (1) 保健センターからの打診
- (2) 市教育委員会との相談
- (3) 県内実施校への情報収集 (養護教諭)
- (4) 職員の研修 フッ化物洗口についての理解 (市保健センター歯科衛生士)
- (5) 学校歯科医・学校薬剤師との相談
- (6) フッ化物洗口についての啓発
 - ① 保護者説明会 2回 次年度入学予定児童の保護者を含む
11月19日(日) 市保健センター歯科衛生士
「鶴舞小の子ども達が鶴のように真っ白な歯で美しく羽ばたいていけるように」
2月3日(土) 日本大学松戸歯学部教授 小林清吾様
「むし歯予防の基礎知識とフッ素洗口について」
 - ② 保健だより(フッ素洗口特集等)
 - ③ PTA理事会、学区民会議等での説明
- (7) 学校医等への実施報告
- (8) 保護者への「フッ化物洗口承諾書」配布・集約
- (9) フッ素洗口の練習・指導・2月
- (10) 3月1日～ 試行実施 3月中

II フッ素洗口の実際

1. 対象者 全校174名 ⇒ 実施希望者 161名 (約93%)

2. 実施日時 毎週木曜日 8:05～8:30 朝の会等において

3. 時程(流れ)

前日	フッ素洗口液の作成(ディスペンサーボトルに)	養護教諭
当日	8:00 ・洗口用具を保健室に取りに行く	保健係
	・「フッ素洗口の時に気をつけること」黒板掲示	担任
	・教卓を拭き、紙コップに洗口液を入れる(7cc)	担任
	・紙コップとティッシュを配布	
	・「洗口はじめ」砂時計で1分間後「洗口おわり」	担任
	・洗口液を紙コップに吐き出し、口をティッシュで拭き、紙コップに入れ、洗口液を吸わせる	各自
	・紙コップを重ねて回収、ポリのゴミ袋に回収	
	・洗口用具とゴミを保健室に返却し、次回の準備	保健係

III その他

1. フッ化物洗口に係る経費については、原則として受益者負担とする。年額300円予定
2. フッ化物洗口を希望しない児童への対応・・・別ボトルに水を用意し、水でのうがい
3. フッ化物洗口の成果をどうまとめるか。 学校として、実施者や家庭への情報提供

19年度の経費については、県モデル事業が未確定なため、受益者負担の予定で検討。

※ H19.3.7 (水) 市原市フッ化物洗口モデル事業報告会資料

作成：18年度鶴舞小学校校長 藤田有正先生